

がんの治療を惑わせる諸説

副院長 **富山 光広**

近年ではいろいろな種類の抗がん剤が世に出て来ようになった一方で、これらの治療には全く意味がない、それどころか害悪そのものであるというような医療者の意見も散見されています。専門家のあいだにも、このような意見の食い違いが見られると全く不安になってしまいますが、一体、本当のところはどうなのでしょう。

大腸がんを例にとって考えてみましょう。手術をしたにもかかわらず不幸にして大腸がんが再発した場合、なにも治療を行えなかった時代の平均余命は約6か月でしたが、5-FUという薬が発見されて約7か月になり、ロイコボリンという薬を同時に投与すると効果が高まることが発見されてからは、平均余命が約12か月まで延びました。さらにCPT-11やL-OHPという薬が登場すると、平均余命は約20か月まで認められるようになりました。

近頃になり、抗がん剤とは違って、もともとの人の細胞の活性をコントロールしている部分に直接関与する薬物が作りだされるようになってきてからは、これらと抗がん剤を合わせて投与すると、平均寿命は30か月に至るまで延長可能になってきました。

大腸がんが再発したらあと半年と言われていた時代からみれば、2年半は生きられるようになったというのはかなり衝撃的な出来事です。そして飛躍的に寿命が伸びるようになってきたのは、ここ5年くらいの事なのです。

がんの治療を否定することは一見人生をありのままに生きるさわやかな自然派のようなイメージを抱かせますが、**がん**と本当の意味で向き合うためには時代の進歩と共に生まれてきた新しい知見をよく咀嚼して、自分の血肉としてから判断する骨太な考え方が必要なのです。そのためには現在でもたゆまず学習を継続している良質な医療スタッフを選ばなくてはなりません。

いくばくかの抗がん剤の副作用があるにせよ、半年の寿命が2年半になれば、まだまだ色々なことができそうです。その許された新たな時間に意味が無いとはとうてい思えないのですが、みなさんはどうお考えになるでしょうか。



職員募集

募集職種と応募資格 試験日

①看護師（経験者）

昭和43年4月2日以降生まれで、看護師の有資格者。試験日/12月11日(水)、1月15日(水)、2月12日(水)。

②看護師・助産師（資格取得見込者）

昭和49年4月2日以降生まれで、平成26年4月までに看護師・助産師免許取得見込者。試験日/12月11日(水)。

③管理栄養士

昭和43年4月2日以降生まれで、管理栄養士免許を有し、医療機関における実務経験10年以上かつ栄養指導経験のある者。試験日/12月11日(水)。

応募方法など

●**応募方法** ①、②は試験日の5日前までに、③は試験日の1週間前までに必要書類を

申込先へ提出してください。

●**必要書類** 採用試験申込書、身上調査書、受験票(ともに市立病院事務局で配布するほか、市立病院ホームページでも入手可)、最終学校卒業

(見込) 証明書、成績証明書
および①は看護師免許証の写し、③は管理栄養士免許証の写し。
※非常勤職員(看護師・准看護師)は随時募集しています。

【申込・詳細】市立病院管理課総務係(☎067・8585若草町6 ☎382・5151内線2006)



糖尿病教室

いてみたいことがありましたら、この機会に聞いてみませんか？

いずれも市立病院2階講義室で、時間は15時～16時です。事前の申込は不要。参加料無料。

①12月6日(金)/食事と病気(西平内科医師)/インスリンとは？(小松薬剤師)

②12月13日(金)/糖尿病と足の動脈硬化(四戸循環器科医師)

※都合により内容が変わる場合もあります。

【詳細】診療技術部栄養科 ☎382・5151内線6821

市立病院の診療費はクレジットカードで支払えます

市立病院では、診療費などのお支払いにクレジットカードが使えます。急なげや病気の際、また、入院時にも現金を用意せずに精算ができます。



市立病院医事課医事係 ☎382・5151内線1104